

源流から河口までのネットワーク

荒川クリーンエイドは、2013年も市民団体・自治体・企業・学校など様々な団体とのパートナーシップを実現しながら、荒川とその支流の各地で実施されました。

市民団体

- ① (NPO)秩父の環境を考える会、② 秩父教育懇話会(秩父こどもエコクラブ)、③ (NPO)熊谷の環境を考える連絡協議会、④ 鴻巣の環境を考える会、⑤ 市野川水系の会、⑥ 滑川町、⑦ ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会、⑧ 大谷川クリーン大作戦市民実行委員会、⑨ (NPO)荒川の自然を守る会、⑩ 黒目川クリーンエイド実行委員会、⑪ 埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部、⑫ 荒川夢クラブ、⑬ 埼玉県生態系保護協会 川口支部、⑭ FUJIO PROJECT、⑮ 板橋グローブクラブ、⑯ いたばし野鳥クラブ、⑰ 板橋水辺を楽しむ会、⑱～⑳ 北区水辺の会、㉑ 北区水辺クラブ、㉒～㉓ 大正大学 環境サークルsmile、㉔ 45・46 ボーイスカウト東京連盟 城北地区 北第11団、㉕ 足立区本木水辺の会、㉖ ふるさと清掃運動会実行委員会、㉗ 54・55 尾久の原愛好会、㉘ 96 (NPO)荒川クリーンエイドフォーラム、㉙ 隅田川市民交流実行委員会、㉚ あらかわミズガキ隊、



- ㉛ SAVE JAPANプロジェクト、㉜ 東京東ローターアクトクラブ/東京江戸川ローターアクトクラブ/東京東江戸川ローターアクトクラブ、㉝ 中土手に自然を戻す市民の会、㉞ (NPO)えどがわエコセンター、㉟ 都漁連内湾釣漁協議会/葛西東渚・鳥類園友の会、㊱～㊲ 西なぎさ発:東京里海エイド、㊳～㊴ 下平井水辺の楽校、㊵ 川の手ふぁんクラブ、㊶ 小松川平井連合町会、㊷ 東京東江戸川ロータークラブ、㊸ 江戸川・生活者ネットワーク/ガールスカウト東京都第215団、㊹ 江東エコリーダーの会 (計:70会場)



学校

- ㉚ 東京都立桐ヶ丘高等学校、㉛ 帝京科学大学自然環境学科、㉜ 葛飾区立小松南小学校、㉝～㉞ 江戸川区立大杉小学校、㉟ 江戸川区立平井東小学校、㊱ 江戸川区立平井小学校、㊲ 江戸川区立小松川第二小学校 (計:9会場)

企業

- ㉛ 情報労連埼玉県協議会/NTT労働組合埼玉県グループ連絡会、㉜ 15 NTT東日本埼玉グループ、㉝ (株)ファミリーマート、㉞ 70・㉟ (一財)アールビーズスポーツ財団、㊱ 日本工営(株)、㊲ みずほ証券(株)、㊳ SMBCフレンド証券(株)、㊴ (株)藤商事、㊵ 足立成和信用金庫、㊶ 74 ジブラルタ生命保険(株)、㊷ 情報労連東京都協議会/NTT労働組合東京グループ連絡会、㊸ 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)、㊹ (株)ガリバーインターナショナル、㊺ (株)日立ビルシステム、㊻ 三井住友海上プライマリー生命保険(株)、㊼ プルデンシャル生命保険(株)東京第四支社、㊽ 89 (株)かんぽ生命保険、㊾ 豪田ヨシオ部、㊿ (株)新生銀行、㊿ リコーテクノシステムズ(株)、㊿ (株)資生堂、㊿ (一社)東京損害保険代理業協会、㊿ (株)エクスマン、㊿ 非公開希望、



- ㊿ 85・86 ブルームバーグL.P.、㊿ (一社)建築ビジョン、㊿ (株)ユニック、㊿ フィリップモリスジャパン(株)、㊿ JFE商事労働組合、㊿ 101 JAMBO International Center、㊿ マルハニチログループ、㊿ JFE商事(株)、㊿ ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)、㊿ ローソングループ、㊿ 小松川信用金庫、㊿ 三菱UFJトラストシステム(株)システム開発第4部、㊿ 127 (株)三井住友フィナンシャルグループ、㊿ (株)阪急阪神交通社ホールディングス、㊿ SMBC日興証券(株)、㊿ 136 住友生命保険(相)、㊿ 非公開希望、㊿ ジョンソンコントロールズ(株)、㊿ (株)ダイエー、㊿ りそな銀行首都圏地域 (計:55会場)

自治体

- ㊿ 戸田市環境経済部環境クリーン推進課、㊿ 川口市建設部建設管理課、㊿ 板橋区みどり公園課、㊿ 北区、㊿ 足立区、㊿ 荒川区教育委員会社会体育課、㊿ 台東区教育委員会青少年・スポーツ課、㊿ 荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区、㊿ 墨田区、㊿ 江戸川区土木部水とみどりの課、㊿ 江東区土木部施設保全課 (計:11会場、内2会場は市民団体と協働開催)



より広く より深い 荒川クリーンエイドをめざして

～荒川クリーンエイド・フォーラム 主催・共催イベント～

NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラムは、2013年も主催・共催として、皆さんと共に荒川クリーンエイドを実施しました。より幅広い参加者、より気づき・学びの深い荒川クリーンエイドをめざして活動を行っています。

4・10月 「荒川de調べるゴミ拾い」

主催 下平水辺の楽校

共催 NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

～自然遊びとゴミ拾い～

クリーンエイド体験会を兼ねたスタンダードな荒川クリーンエイドを実施しました。ゴミの一つひとつを調べ、じっくりと荒川にたまったゴミについて考える機会となりました。午後からは「草笛」や「投網体験」、「干潟でカニ探し」など、大人も子どもも荒川の自然遊びを楽しみました。



◆日時 ①4月14日(日) 10:00～14:00
②10月20日(日) 雨天中止(午後有志で臨時開催)
◆会場 JR総武線下流右岸 下平水辺の楽校(江戸川区)



6月 「SAVE JAPANプロジェクト2013」

主催 NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

共催 株式会社損害保険ジャパン 日本興亜損害保険株式会社

公益社団法人 日本環境教育フォーラム 認定NPO法人 日本NPOセンター

～生物多様性とゴミ拾い～

「いきものが住みやすい環境づくり」をめざして日本各地で実施されているSAVE JAPANプロジェクトの一環として、荒川河川敷で生息分布域を拡大させている「外来植物の除草」と荒川クリーンエイドを行い、荒川本来の生態系の保全に努めました。約120人の参加者が荒川の生き物に触れ合いながら、荒川の生態系について感じるよい機会となりました。

◆日時 6月15日(土) 9:30～12:00 ◆会場 新四ツ木橋下流左岸(葛飾区)

7月 「ARAKAWAクリーン駅伝2013」

主催 FUJIO PROJECT

共催 NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

～マラソン大会でゴミ拾い～

荒川河川敷の板橋区陸上競技場を中心に開催されたARAKAWAクリーン駅伝。

ゴールの後には、駅伝に参加した人、応援にきた人、皆で一緒にゴミ袋を持って荒川クリーンエイドを行いました。参加者の皆さんの、いつも利用している荒川や競技場への「感謝の気持ち」が伝わってくるよい活動となりました。

◆日時 7月6日(土) 11:30～12:30 ◆会場 戸田橋陸上競技場周辺(板橋区)



9月 「荒川クリーンエイド2013体験・説明会」

主催 NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

～体験! 調べるゴミ拾い～

秋の荒川クリーンエイドのスタートにあたり毎年開催されている荒川クリーンエイド体験・説明会。荒川クリーンエイドの意義や方法、安全管理などを実践と講義形式で参加者に伝えています。キャプテンとしてこれから会場を運営する方を主対象として行われました。体験会には45名、説明会には43名の方にご参加いただき、2013年は改定した調査カードにも重点を置きました。



日程 9月14日(土)
〈体験会〉10:00～12:00 ◆会場 千住新橋周辺右岸(足立区)
〈説明会〉13:30～16:15 ◆会場 足立区生涯学習センター



10月 「ふるさと清掃運動会in 荒川」

主催 ふるさと清掃運動会実行委員会

共催 NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

～みんな一緒にゴミ拾い～

荒川での「ふるさと清掃運動会」は2013年で4回目を迎え、小雨の降る中、今年も約700名という大勢

の参加者が荒川河川敷に集まりました。学生ボランティアを中心とした大勢のスタッフのもと、実行委員長の王貞治さんも参加され、あっという間に河川敷に溜まったゴミを片付けることができました。少年野球チーム、企業、一般の方々など様々な団体が協力し、共に活動することができました。

◆日時 10月5日(土) 13:00～15:30 ◆会場 西新井橋下流左岸(足立区)



12月 「大学対校!ゴミ拾い甲子園」

主催 豪田ヨシオ部 (運営:株式会社クリエイティブPR)

共催 NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

～大学生とゴミ拾い～

NPOと協働して、楽しく気づきを得られるイベント・ボランティア活動を行っている豪田ヨシオ部さんとともに、大学対校の「ゴミ拾い甲子園」を実施しました。参加した6大学の学生は、大学ごとのチームに分かれ、ゴミ拾いゲームで競いながら楽しくクリーンエイドを行うなど、荒川と荒川のゴミ問題について学びながら、学生間の交流を深めました。



◆日時 12月1日(日) 13:00～15:00
◆会場 新四ツ木橋下流左岸(葛飾区)

イベント開催にご協力いただいた皆さん、ご参加いただいた皆さんに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

荒川クリーンエイドの仲間たち

荒川クリーンエイド2013は、市民団体、企業、自治体、学校などさまざまな団体のみなさんにより実施されました。各団体の概要や感想などを紹介します。

1 (NPO)秩父の環境を考える会

影森グラウンド(秩父市)／岩田泰典

当日は雨天だった。8時30分に準備をはじめ、9時ちょうどより46名でゴミ調査を実施した。9時30分、雨がさらに激しくなり、集めた袋をひとまとめにするのが精一杯。9時45分、片付け。とにかくあの雨天の中、皆さんカッパ着用がほぼ徹底しており、ビックリした。地域の方々の意識の高さと「絆」の強さを再認識した。おつかれさま！
①10/20(日) ②46人 ③15袋 ④20袋 ⑤1個

2 秩父教育懇話会(秩父こどもエコクラブ)

長瀬町高砂橋上流右岸(長瀬町)／新井秀直

秩父こどもエコクラブは、自然の中で遊ぶことにより楽しみ、自然のありがたさを知り、自然を大切にすることを育てる、を目標に活動しています。本年度で10年となり、そんなことでゴミ調査も10回目となりました。今後も続けていきたいと思ひます。また、併せて荒川の流れてカヌー教室を行い、流れに挑戦し楽しみました。
①10/6(日) ②30(25)人 ③5(2/2/1)袋 ④20個

3 (NPO)熊谷の環境を考える連絡協議会

熊谷市内河川敷6会場(熊谷市)／栗原 寛



今回で16年目となりました。熊谷大橋から新久下橋下流まで約8kmに亘る荒川本流河川敷がエリアです。受付場所6ヶ所、ゴミ集積場所13ヶ所、参加者は39団体、子どもから大人まで1360名と大規模です。スポーツ団体、役所、企業、自治体等多彩です。今年は接近中の台風の影響もあり実施判断に直前まで悩まされましたが、無事終了することが出来ました。収集ゴミも1,185kgと毎年減少傾向にあります。
①11/10(日) ②1360(200)人 ③可燃590kg、不燃415kg
④粗大180kg ⑤39団体

4 情報労連埼玉県協議会、NTT労働組合埼玉グループ連絡会

荒川運動公園(熊谷市)／浅見明良



情報労連埼玉県協議会は埼玉県内の情報通信産業で働く者の労働組合です。毎年5月に「環境一斉行動」の日を設け活動しています。今年も荒川クリーンエイドに参加し、熊谷市の荒川運動公園周辺の河川敷を清掃しました。多くの組合員とその家族が参加し、環境について学び・行動しました。人が捨てなければゴミはそこには無いのに、山になるゴミに考えさせられました。
①5/25(土) ②134(4)人 ③84(46/20/18)袋 ④7個

5,6,7 鴻巣の環境を考える会

5)大芦橋下流左岸(鴻巣市)／雨宮昌夫
6)糠田橋下流左岸(鴻巣市)／川島秀男
7)御成橋下流左岸(鴻巣市)／小石沢正義



鴻巣の環境を考える会の会員以外にも、いろいろな団体の会員が参加して下さり、とても嬉しいひとときでした。また、紙飛行機を飛ばしに来た青梅市のご夫婦が、ゴミを拾ってくれたのが嬉しかったです。ゴミで特に目立ったのは、台風後の流木の破片、またマットレスや布団が落ちており、ポリ袋には土や砂が入っていました。荒川本流の水質調査では、子どもたちにCODを実測してもらい、CODは4ぐらでした。
5) ①11/23(土) ②3人 ③13袋 ④2袋 ⑤5個
⑥ふきあげ環境フォーラム、彩の会
6) ①11/23(土) ②15人 ③20袋 ④3袋 ⑤10個
⑥蛍の会、NPO法人鴻巣こうのとりを育む会
7) ①11/23(土) ②3(3人)人 ③7袋 ④2袋 ⑤3個

8 市野川水系の会イン滑川町

滑川町羽根尾～区集会所(滑川町)／上野 廣



比企の川づくり協議会の活動のひとつとして、「市野川の蛇行河川を守る活動」を10年以上前に開始、5年前に「市野川水系の会 in 滑川町」を発足させ、荒川クリーンエイドの活動を続けています。今年、10月に台風が多かったために、川が増水し、上流から流されてきたペットボトル、空き缶などが多かったようです。買い物袋ごと捨てられたゴミや一般家庭から出るゴミなどもあり、環境問題についてのモラル向上が今後の大きな課題であると、改めて感じた清掃活動でした。今回の清掃活動は、河畔林の紅葉が美しい市野川蛇行河川の鑑賞会もかねて開催したこともあり、TBS「風の言葉」スタッフ3名も飛び入り参加で、取材がありました。12月22日深夜に放映されました。私たちのような小さな活動にも目を向けていただき感謝しているところです。
①11/23(土) ②15人 ③7(6/0/1)袋 ④2(1/1)袋 ⑤3個
⑥市野川水系の会、比企の川づくり協議会、滑川町など



9 ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会

吉見百穴前市野川河川敷(東松山市)／伊田登喜三郎



当会は、東松山市のロータリークラブと東松山市、吉見町の自治会を中心として、商工会、青年会議所、NPO、建設業協会、測量設計業協会、市町等の16団体がメンバーとなっています。当日は晴天に恵まれ、昨年と同程度の700人を超える大勢の方々に参加していただいて実施でき、恒例行事として定着できています。
①11/9(土) ②730(200)人 ③4④6計3t

10,11,12 大谷川クリーン大作戦 市民実行委員会

大谷川(鶴ヶ島市)／鈴木勝行 10)太田ヶ谷地区／内野訓雄
11)藤金地区／小沼英二 12)五味ヶ谷地区／滝島静明



鶴ヶ島市では毎年10月の中旬に市主催のクリーンディがあり、それに合わせて大谷川のクリーン活動も実施してきた。今年は選挙があった関係でクリーンディが11月になり、それにあわせて活動日も11月に変更した。藤金地区、五味ヶ谷地区は17日に、太田ヶ谷地区は23日に実施した。年を重ねるごとに回収するゴミの総量は確実に減っているが、コンビニ弁当とペットボトルあるいは飲料水の缶のセットだけは、減らない。なんとかコンビニ会社で「川に捨てるな。キャンペーンをしてもらいたいと思う。恐らく増水時に流れ易いペットボトルだけは、下流に流れていっていると思う。粗大ゴミについては、子どもが悪戯で投げ込んだと思われる車止めやコーンボール等が目立った。
10) ①11/23(土) ②9人 ③8(6/1/1)袋 ④7個 ⑤大谷川源流の会
11) ①11/17(日) ②12人 ③23(16/6/1)袋 ④8個
⑤つるがしま里山サポートクラブ、鶴ヶ島の自然を守る会、大谷川里親の会、プログレス、エコ鶴市民の会
12) ①11/17(日) ②36(1)人 ③めだか学舎

13 (NPO)荒川の自然を守る会

三ツ又ビオトープ(上尾市)／菅間宏子



普段は三ツ又沼ビオトープの管理作業を月2回から4回ぐらいしています。主に外来植物の抜き取り作業をしています。駐車場を中心にごみを捨てる人も絶えません。日常のごみ拾いをしていますが、この時期は洪水があると大量のごみが漂着します。その点で今年は洪水がなく助かりました。
①10/6(日) ②12人 ③5袋 ④2(1/1)袋 ⑤4個

市民団体	自治体
企業	学校
①実施日 ②参加人数(子ども人数)	③大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル) ④小ゴミ袋数(びん/缶)
⑤粗大ゴミ数 ⑥参加団体	

14,15 NTT東日本埼玉グループ

14)上戸運動公園(川越市) 15)秋ヶ瀬運動公園(さいたま市)



NTT東日本埼玉グループ全体の社会貢献活動として18年目を迎え、今年も200名の参加者のもと、3か所の河川敷で実施した。一見きれいに見えたが少し草むらに入ると一斗缶等、不法投棄も見受けられた。また、ビール缶がまとめて捨ててあったり、タバコの吸い殻も多く、大人がマナーを守れていないことが残念。参加することにより普段気付かないことに気づく機会となり、皆でできる環境保全活動として継続して取り組んでいきたい。
14) ①11/10(日) ②36人 ③25(15/10)袋
15) ①11/10(日) ②116(5)人 ③91(53/38)袋 ④1個
※村岡運動公園(熊谷市)会場は、3)(NPO)熊谷の環境を考える連絡協議会の参加団体に含まれます。

16 黒目川クリーンエイド実行委員会

黒目川(東久留米市)／菅谷輝美 ①10/20(日) 雨天中止

17 埼玉県生態系保護協会 戸田・蔵支部、戸田市環境経済部環境クリーン推進課、荒川夢クラブ

戸田橋左岸周辺(戸田市)／石本 誠



今年は何年よりゴミの量が少なく喜ばしいことです。しかし、私たちの会場はたばこの吸い殻・花火が多いのが実状です。荒川は戸田では唯一市民の憩いの場であるため、訪れる方が多いのですが、マナーの悪いのには驚かされます。荒川は体や心を癒してくれるオアシスです。ゴミのない水と緑の回廊になることを常々願っております。
①11/16(土) ②103(51)人 ③15(11/1/3)袋 ④3(1/1/1)袋 ⑤11個

18 川口市建設部建設管理課

荒川運動公園～三領水門(川口市)／小川 清 ①10/27(日) 雨天中止

19 荒川夢クラブ

荒川運動公園釣堀池周辺(川口市)／林 美恵子



荒川夢クラブ主催の春のクリーンエイドは小ぢんまりながらアットホームに実施されました。小学生、高校生、大学生から60代まで、親子参加、地元ボーイスカウト、若い女性など多様な立場や年齢層で進捗。ゴミ調査、ゴミ拾いととも、春の自然観察では野鳥や色とりどりの花々を楽しみ、水質検査ではワクワクと初めて透視度計をのぞき込む体験もしました。ランチで初めて味わった野草茶も忘れられないひととき、と皆さんの声でした。
①4/14(日) ②11(2)人 ③5(2/2/1)袋 ④2(1/1)袋 ⑤5個
⑥ボーイスカウト第7団

20,21 埼玉県生態系保護協会 川口支部

河原町原っぱ(川口市)／西尾研二



「ゴミ拾いは楽しかった」「少しきれいになって気持ちがよかったです」「ほっとした」、みんなニコニコと一生懸命やってくれました。そのあとは食べられる野草のサンプルを見ながら話しもよく聞িয়েくれました。そしてヨモギをつんで、ゆがいて、切って、ホットケーキに入れて、ヨモギのホットケーキのできあがり。リピーターもいるほどおいしいホットケーキでした。お母さん方はたくさんつんでお土産にしていました。

20) ①4/27(土) ②30(12)人 ③13袋 ④6個

⑤かわぐちっ子荒川クラブ

21) ①9/28(土) ②17(8)人 ③8袋 ④7個 ⑤かわぐちっ子荒川クラブ

22 (株)ファミリーマート

笹目橋下流右岸(板橋区)／船山紀幸



荒川クリーンエイドの清掃活動に参加し、今年で7年目になります。毎年同じ会場で実施しており、今回は前週の台風の影響が心配されましたが、ゴミが散乱してることなく、気持ちよく清掃が出来ました。荒川戸田橋緑地は一目ゴミが無いように見えましたが、草むらの中には多くのゴミが散見されました。清掃活動を通じて、環境問題をより身近に感じることができ、改めて環境保全活動を考える良いきっかけとなりました。

①10/19(土) ②20人 ③7(3/3/1)袋 ④2(1/1)袋 ⑤6個

23 FUJIO PROJECT

戸田橋陸上競技場周辺(板橋区)／宮地藤雄



FUJIO PROJECTは各地でランニング大会を行い、走ったあとに周辺をゴミ拾いをしてきれいにします。という、一風変わった大会を主催しています。7月に開催したARAKAWAクリーン駅伝では、駅伝実施後にゴミ拾いを実施しました。普段は目についたゴミを分別回収するのみですが、今回はどんなゴミが落ちているのか集計をしながらのゴミ拾い。漠然と拾うのではなく、データも取りながらのこの活動には目から鱗でした。今後も荒川流域での大会実施の際には荒川クリーンエイド・フォーラムさんとご一緒させていただき、地域を盛り上げて行ければと思っています。ありがとうございました。

①7/6(日) ②200(20)人 ③17(11/1/5)袋 ④2(1/1)袋

24 板橋グローブクラブ

戸田橋緑地(板橋区)／丸子哲平



板橋グローブクラブは、板橋区内の小中学生が集まって環境に関する活動をしているクラブです。自然観察や環境実験、リサイクル工作、エコクッキング等を通して環境について学んでいます。去年と同様に、タバコの吸殻が全体が一番多かったですが、お菓子のポリ袋も次いで多かったです。一部の人間がゴミを出しているのだと、改めて感じました。大好きな荒川を、これからもしっかりと考えていきます。

①11/23(土) ②15(7)人 ③4(2/1/1)袋 ④2(0/2)袋 ⑤2個

25,26 いたばし野鳥クラブ、板橋区みどり公園課

板橋生物生態園・中規模自然地(板橋区)／栗林菊夫



当日は大変な寒さでした。バスが10時5分に着くので、それを待ってから始めました。留学生の皆さんには、3名1組になってもらい、そこにクラブから1名づつ付き、ゴミ拾いの作業をおこなってもらいました。温かい昼食として、トン汁、防災食を出し、体を暖めました。食後、早々自然観察を行い、記念写真を撮って、午後1時には終了しました。

25) ①4/20(土) ②37人 ③27(14/4/9)袋 ④9個

26) ①10/26(土) 雨天中止

27 板橋水辺を楽しむ会

板橋生物生態園・中規模自然地(板橋区)／梅村松秀



今回のゴミ拾いは、夏休みゴーゴーボランティア行事に組みこんで行われました。初日17日は、室内で事前学習をして、現地確認を行いました。2日目には、朝から外来植物を切る作業をしてから、切り終わった場所のゴミ拾いを行いました。ゴミは思ったより少なく、10分ほどのゴミ拾いでした。

①8/18(土) ②42(10)人 ③4(2/1/1)袋

28 東京都立桐ヶ丘高等学校

新荒川大橋周辺右岸(北区)／佐藤正代



毎年11月に地域交流の一環として、3・4年次が荒川クリーンエイド活動を行っています。今年は天候に恵まれ、活発に活動することができました。少し前に小学校の方々の活動で通路付近はきれいになっていたので、主に高校生でないとできない水際に流れついているゴミを集めました。生徒からは「いろいろな所から流れついている」「動物がすみにくくなる」と困る等、いろいろな意見が出ています。

①11/19(火) ②84人 ③32(15/11/6)袋 ④5(1/3/1)袋 ⑤2個

29~37 北区水辺の会

北区・子どもの水辺(北区)／太田桐 正吾



北区水辺の会は、荒川河川敷にある、「北区・子どもの水辺」のワンドの維持管理、調査観察、小学校から大学まで水辺自然地を利用した体験活動のサポートなど、多様な活動を主幹団体として取り組んでいます。毎月、第3土曜日にゴミ拾いを行っていますが、ゴミ調査カードの記入には負担を感じているため、数えるのは年1回だけです。破片・かけら類はカウントできません。楽しくクリーンエイドしたいと思います。

29) ①4/20(土) ②130(20)人 ③55袋 ④5個

30) ①5/18(土) ②29(12)人 ③13袋

31) ①6/15(土) ②12人 ③4袋 ④1袋

32) ①7/20(土) ②14(1)人 ③12袋

33) ①8/17(土) ②29(1)人 ③23袋 ④2袋

34) ①9/21(土) ②14人 ③12袋 ④2個

35) ①10/19(土) ②13人 ③24袋 ④3袋 ⑤4個

36) ①11/16(土) ②14人 ③14袋 ④4袋

37) ①12/21(土) ②83(43)人 ③5袋 ④3袋

38 北区水辺クラブ

北区・子どもの水辺(北区)／松下 正義

10月に入って記録更新中の最後の夏日当日に行った。本川右岸のワンドに干満に伴い水が出入りする二つの池の大池には個体数は少ないが、カモ類の姿もあって渡りの季節は始まったようだ。前日下見をしていたので大池水際と芦原間の幅2mほどの帯状干潟距離40mほどを拾い集めた。池周りの漂着ゴミの集積場所として特徴的なところだ。秋口にここ数年来ミズアオイの自生地でもあるので、今回写真撮影はしなかった。

①10/12(土) ②3人 ③2(1/0/1)袋 ④2袋 ⑤2個

39~41 大正大学 環境サークルsmile

新荒川大橋上流(北区)／佐々木大和、鈴木雅典



大正大学環境サークルsmileは、大正大学の学生が結成したサークルです。自然環境と触れ合い、楽しむことが目的です。昨年に引き続き参加させていただきました。昨年より参加メンバーが増え当日の運営が大変でしたが、新入生もたくさん来てくれたことと、グループ単位での清掃ということもあり、グループ内での親睦が深まったのではないかと思います。来年もメンバーの親睦を深めつつの清掃活動として参加させていきたいと思っています。

39) ①5/12(日) ②26人 ③12(4/6/2)袋 ④4(1/2/1)袋 ⑤2個

40) ①7/14(日) ②18人 ③14(7/2/5)袋 ④6(2/3/1)袋 ⑤3個

41) ①11/17(日) 中止

42 北区

荒川岩淵関緑地(北区)／森下 希 ①10/20(日) 雨天中止

43,70,133 (一財)アールビーズ スポーツ財団

43) 新荒川大橋緑地周辺(北区)／阿部拓也

70) 堀切水辺公園周辺(葛飾区)／松田亜紀

133) 船堀橋周辺右岸(江戸川区)／栗原雅貴



長年にわたり、ランニングの普及・発展のための事業を数多く実施してきたランナーズグループが、新たに財団法人を設立しました。従来行っていた「ランナーズ賞」の運営、「フルマラソン1歳刻みランニング」の集計

など、社会貢献事業や公共性の高い事業を新財団に移管するとともに、今後はランニングのみならず、自転車、水泳も含めた市民参加型のスポーツイベントを支援することを目的としています。また、ランニング関連データの収集、主催者への情報提供、ボランティア育成・派遣などにも取り組みます。

43) ①4/13(土) 中止

70) ①10/26(土) 雨天中止

133) ①1/26(土) ②12(5)人 ③13(11/1/1)袋 ④2個

44 日本工営(株)

新荒川大橋下流右岸(北区)／塩見真矢



6月1日(土)、東京都北区の新荒川大橋下流(荒川岩淵緑地)において、荒川クリーンエイドを実施しました。当日は、社員とその家族を合わせて16人(うち子ども4人)が参加しました。参加者は、燃やすごみ8袋、燃やさないごみ1袋、ペットボトル2袋、缶2袋の計13袋と自転車、傘の粗大ごみを回収しました。清掃後は、バーベキューを行い、タスマニアビーフや骨付き豚肉を食べ、大いに盛り上がりました。

①6/1(土) ②16(4)人 ③11(8/1/2)袋 ④2(0/2)袋 ⑤2個

45,46 ボーイスカウト東京連盟 城北地区 北第11団

赤羽岩淵水門広場(北区)／長坂養一



ゴミを拾う人はすばらしい人だという人あり。私たちボーイスカウトは、もう一段高い目的でこのクリーンエイドに奉仕しております。誰が捨てたかわからないゴミを拾うことを喜んでやっているものは少ないです。

だからこのいやなことを体験してもらい、このいやなことをやらなくて済むよう、「ゴミを拾う人からゴミを捨てない人」を目標としています。

45) ①6/23(日) ②36(23)人 ③7(2/3/2)袋 ④3(1/2/0)袋

46) ①9/29(日) ②38(25)人 ③5(2/2/1)袋 ④3(1/1/1)袋

市民団体 自治体
企業 学校

①実施日 ②参加人数(子ども数)
③大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル)
④小ゴミ袋数(びん/缶) ⑤粗大ゴミ数 ⑥参加団体

47 みずほ証券(株)

鹿浜橋上流左岸(足立区) / 市原しのぶ



みずほ証券ではみずほフィナンシャルグループの中核証券会社として、地球環境の保全に向けた取り組みをグループ一体となって推進しています。荒川クリーンエイド活動は、身近な社会問題・環境問題に取り組むことを目的に2011年社員の一般参加の形で活動し、2013年4月に新入社員研修向けCSR研修として実施いたしました。参加した新入社員は社会人として社会問題・環境問題について自ら行動し取り組んでいくことの大切さを実感し、社会の一員としての意識を持つことができました。今後も活動に参加させていただき、地球環境の保全に向けた取り組みを継続して行って行ければと思います。

①4/23(火) ②183人 ③140(91/15/34)袋 ④50(15/35)袋 ⑤58個

48 SMBCフレンド証券(株)

鹿浜橋周辺左岸(足立区) / 梶原瑠子



内定者懇談会として荒川のクリーンアップを行いました。初めてのボランティア活動だった人がほとんどでしたが、荒川クリーンエイドさん指導のもと、楽しく清掃活動が行えました。また活動を通じて、環境保全に対する意識も変わりました。こういう機会があれば是非参加したいと思えます。

①9/6(金) ②66人 ③50(32/5/13)袋 ④9(2/7)袋 ⑤32個

49 (株)藤商事

扇大橋周辺左岸(足立区) / 飯山 清

①11/30(土) ②70(7)人 ③40(20/10/10)袋 ④3個

50 足立区本木・水辺の会

本木ワンド(足立区) / 三井元子 ①10/20(日) 雨天中止

51 ふるさと清掃運動会実行委員会

西新井橋下流左岸(足立区) / 亀山久雄



著名人組織「富士山大好き!百人の会」が全国に環境アクションを呼びかけているふるさと清掃運動会は今年7回目、これまでの参加者はのべ19万人を超えました。荒川では荒川クリーンエイド・フォーラムと4回目の開催。小雨が降る中でしたが700人が参加。今年も実行委員長の王貞治さんが小雨にもかかわらず駆け付け、少年野球の子どもたちと川ゴミ拾いに汗を流しました。

①10/5(土) ②700人 ③630袋 ④32個

52 足立成和信用金庫

千住新橋緑地(足立区) / 高杉浩明



平成25年9月7日(土)当金庫役職員227名参加で荒川左岸の千住新橋～東武線鉄橋間の清掃活動を行いました。当金庫は毎年同じ地域の清掃活動を行ってありますが、年々ゴミの量は減っているように思います。長年の荒川クリーンエイドの活動により、土手利用者のマナー向上効果が出ていることが要因と思われる。

①9/7(土) ②227(12)人 ③38(20/10/8)袋 ④18(7/11)袋

53 足立区

千住新橋緑地(足立区) / 長島 章 ①10/27(日) 雨天中止

54,55 尾久の原愛好会

扇大橋下流右岸(足立区) / 金沢 寛



54) ①6/2(日) ②4人 ③4(2/1/1)袋 ④1(1/0)袋
55) ①10/27(日) ②6人 ③3(1/1/1)袋 ④1個

56 荒川区教育委員会社会体育課

扇大橋下流右岸少年野球場(足立区) / 森田直行



例年、荒川区軟式野球連盟(少年野球)と荒川区サッカー協会の協力により、普段利用しているグラウンドを中心にゴミ拾いを実施しています。参加者からは「昨年よりゴミが少なくなった」という声が聞かれる一方で、

子ども達はタバコの吸いがらのあまりの多さに驚いていました。今日の活動をきっかけに、子どもたちが自然環境やゴミの影響について関心を持ち、ポイ捨てをしない大人になることを望んでいます。

①11/10(日) ②300(240)人 ③17(11/4/2)袋 ④8個
⑥荒川区少年野球連盟、荒川区サッカー協会



市民団体 自治体
企業 学校
①実施日 ②参加人数(子ども人数)
③大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル)
④小ゴミ袋数(びん/缶) ⑤粗大ゴミ数 ⑥参加団体

57,74 ジブラルタ生命保険(株)

57) 扇大橋下流右岸(足立区)

74) 京成押上線周辺左岸(葛飾区) / 石橋 波



ジブラルタ生命は米国プルデンシャル・ファイナンシャルの一角ですが、プルデンシャル・グループでは、毎年10月第一土曜日をグローバル・ボランティア・デーとして定め、全世界で社員とその家族がボランティア活動に取り組んでいます。ジブラルタ生命も全国各地で様々なボランティア活動に参加しており、私たちは荒川清掃を今年のプログラムとして実施いたしました。当初の参加予定者は125名でしたが、当日はあいにくの雨天の影響により、31名で荒川土手の清掃を実施しました。参加者は雨合羽を着て始めから終わりまでとても真剣にゴミ拾いをしていました。ゴミの多さに驚いたり、ゴミ拾いすることで自分達の意識改善に繋がるといった声がありました。また、清掃終了の時間を過ぎて、小さなゴミを丁寧に拾っている参加者の姿が印象的でした。やはり晴れた日に実施できれば参加者ももっと楽しめると思いました。

57) ①10/5(土) ②31(1)人 ③13(10/1/2)袋 ④5(1/4)袋 ⑤4個
74) ①10/5(土) 雨天中止

58 情報労連東京都協議会、NTT労働組合東京グループ連絡会

西新井橋上流右岸(足立区) / 梅田貴史



情報労連東京都協議会は東京都内の情報通信事業ならびにセキュリティ事業、印刷業等で働く仲間の労働組合です。毎年5月の第4土曜日を「環境統一行動日」と定め、北海道～沖縄まで全国一斉にボランティア行動が実施されます。その一環で東京においては、近年、荒川河川敷の清掃しており、職場組合を中心に参加を呼び掛け、親子の参加も増えている状況です。今年もゴミの散乱について、実感していただきました。

①5/25(土) ②200(10)人 ③119(68/13/38)袋 ④9(5/4)袋 ⑤15個

59 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)

西新井橋上流右岸(足立区) / 三浦 哲



当社が主催団体として荒川クリーンエイドを実施するのは今年で4回目となります。前回より一般参加者の受入を行っており、今年は5人の一般の方にご参加頂き、賑やかな雰囲気でもクリーンエイドを実施する事ができました。感想会時に提供させて頂いたフライドチキンとピザをととても喜んで頂きありがとうございました。些細ではありますが今後も継続して環境汚染対策活動に貢献できればと考えております。

①10/4(金) ②19(1)人 ③12(6/3/3)袋 ④2(1/1)袋 ⑤6個

60 (株)ガリバーインターナショナル

西新井橋上流右岸(足立区) / 石川雅一



ガリバーインターナショナルは、ライフスタイルにあわせて車を気軽に乗り換えられるように、時代のニーズに合わせた中古車売上のサービス創造に取り組んでいます。当日は、「ゴミが山のように落ちている」とリアルな危機感を覚えました。自分の子ども達、孫の世代の時、果たして人に優しい環境は整っているのだろうかとても不安になりました。このようなことを本で学ぶのではなく、実際の現場で学ぶことはとても重要だということを痛感しました。今回、新入社員研修で取り組みましたが、見返りを求めず社会貢献させていただくことの清々しさも感じました。

①4/24(水) ②146人 ③137(68/34/35)袋 ④63(31/32) ⑤10個

61 台東区教育委員会 青少年・スポーツ課

台東区菅荒川河川敷運動公園周辺(足立区) / 粟山 大



今年も台東区スポーツ少年団の協力のもと、荒川クリーンエイドを実施しました。参加した子どもたちは、クリーンエイドを通じて、環境問題に対する関心を深められた様子で、大変意義深い活動となりました。

①9/29(日) ②58(48)人 ③7(3/2/2)袋 ⑥台東区スポーツ少年団

62 (株)日立ビルシステム

千住新橋上流右岸(足立区) / 高橋 円 ①10/26(土) 雨天中止

63 帝京科学大学自然環境学科

千住新橋上流右岸(足立区) / 岩瀬剛二

①4/16(火) ②60人 ③59(27/13/19)袋 ⑤36個
⑥足立区荒川ビジターセンター

64,96 (NPO)荒川クリーンエイド・フォーラム

64) 千住新橋周辺右岸(足立区)
96) 船堀橋上流中土手(江戸川区) / 佐藤正兵

64) ①9/14(土) ②45人 ③26(18/4/4)袋 ④2(1/1) ⑤13個
96) ①1/15(火) 雨天中止

65 三井住友海上プライマリー生命保険(株)

千住新橋下流右岸 虹の広場(足立区) / 青地理絵

①10/5(土) 雨天中止

66 プルデンシャル生命保険(株)東京第四支社

堀切橋上流右岸(足立区) / 安部 滋 ①10/5(土) 雨天中止

67,89 (株)かんぽ生命保険

67)堀切橋下流右岸(足立区)／辻 克明
89)木根川橋下流右岸(墨田区)／山口大輔



株式会社かんぽ生命保険では足立区堀切駅付近でクリーンエイド活動を行いました。今回は大人・子ども合わせて27人が参加しました。遠くから見るとゴミはそんなに落ちていないように見えたのですが、河川敷の下に降りてみると、大量のゴミが散乱していました。みんなで力を合わせて、荒川をキレイにしました。

67) ①12/7(土) ②27(3)人 ③45(20/15/10)袋 ④16(3/13)袋 ⑤24個
89) ①6/22(土) 雨天中止

68 隅田川市民交流実行委員会

隅田川吾妻橋～桜橋(台東区)／藤原 隆

本会は、墨田川流域のテラスを年1、2回参加者を集め、四つのルートに分かれて勝どき橋～桜橋間の両岸を清掃している団体です。参加者は200名前後になります。年々ゴミの量は減少していますが、喫煙者のマナーが特に悪質であることと、食べ物のカスを未だに持ち帰らないものが多いです。

①10/19(土) ②53(8)人 ③7(5/0/2)袋
④隅田川流域クリーンキャンペーン実行委員会、東京都公園協会、UPS Japan、HARIO

69 あらかわミズガキ隊

堀切橋下流左岸(葛飾区)／橋本浩基 ①4/21(日) 雨天中止

71 荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区

四ツ木橋下流左岸(葛飾区)／臼田康平

72 豪田ヨシオ部(運営:(株)クリエイティブPR)

新四ツ木橋下流左岸(葛飾区)／仁井田邦彦



豪田ヨシオ部は「社会貢献は大人の部活だ!」をテーマに、楽しく学びのあるボランティアイベントを運営しています。荒川クリーンエイド・フォーラムさんと6大学を結びつけた「ゴミ拾い甲子園」には約60人の大学生が参加しました。各大学が優勝を目指し真剣に環境について考えながら、たくさんのゴミを拾いました。イベント後のアンケートでは「ゴミのポイ捨ては絶対にしないようにする」等の意識の変化が窺えました。

①12/1(日) ②59人 ③77(40/20/17)袋 ⑤23個

73 SAVE JAPAN プロジェクト (NPO)荒川クリーンエイド・フォーラム

新四ツ木橋下流左岸(葛飾区)／佐藤正兵



①6/15(土) ②123(9)人 ③163(59/34/70)袋 ⑤73個
④(株)損害保険ジャパン、日本興亜損害保険(株)、(公財)日本環境教育フォーラム、(認NPO)日本NPOセンター

75 (株)新生銀行

木根川橋周辺左岸(葛飾区)／臼井裕美子



新入社員の環境意識の向上やチームワーク力の育成を目的に、また、社会貢献活動の一環として、荒川河川敷の清掃活動および体験型学習「自然環境教室」に参加しました。今回は、新生銀行および昭和リースの新入

社員に加えて、先輩社員およびその家族と友人も参加し、色々な人と交流しながら、自然の大切さを学ぶ良い機会になりました。参加者からは、「ゴミを拾い続けてもまだまだ残る大量のゴミには驚いた。活動しながら色々な人と話をして刺激をもらい、とても充実した時間を過ごした。今後も参加したい。」などの感想が寄せられました。

①4/13(土) ②42(4)人 ③62(34/11/17)袋 ⑤22個

76,77 リコーテクノシステムズ(株)

木根川橋周辺左岸(葛飾区)／大川鉄雄



リコーテクノシステムズでは、全国の拠点で地域に密着した環境保全活動に取り組んでいます(当日は、浦和秋ヶ瀬公園の荒川河川敷でも清掃活動を実施しています)。荒川クリーンエイドへの参加は今回で3回目になり

ますが今後もこの活動を通じ生物が住みやすい環境を整えていきたいと思っています。

76) ①3/30(土) ②13(1)人 ③28(10/10/8)袋 ④2(1/1)袋 ⑤23個
77) ①11/16(土) ②5人 ③17(13/2/2)袋 ④2(1/1)袋 ⑥リコーグループ会社



78 (株)資生堂

木根川橋下流左岸(葛飾区)／斉藤照代



当社の企業理念のなかに「私たちは、多くの人々との出会いを通じて、新しく深いのある価値を発見し、美しい生活文化を創造します」というミッションが掲げられています。「美しさを創り出す」活動に対して当社の強みが発揮できる「女性・化粧品」「文化」「環境」の3領域の社会貢献活動のなかで、当社事業部では、飲料類を提供していることから地球を美しくする環境活動の一環として「荒川清掃」に参加させていただきました。参加メンバーはペットボトルや飲料びんの多さに驚き、個々の環境問題の意識を高めることができたと思います。微力ながら未来の地球・子供たちのために継続できればと思います。

①10/12(土) ②107人 ③153(80/36/37)袋 ④16個

79 (一社)東京損害保険代理業協会

平井大橋上流左岸(葛飾区)／武舎利幸



東京損害保険代理業協会と申します。10月5日(土)に、10回目のクリーンエイドを実施しました。今年は生憎の小雨模様。雨天決行で実施した結果、23名の参加をいただきました。ただ、河川敷や川際は足元がぬかる

んでいたため立ち入らずに、土手下の安全な地域を選んで清掃活動を実施し、12袋のゴミを収集することができました。悪天候の中での清掃作業が会員相互の友情をより深めたようなクリーンエイドでした。

①10/5(土) ②23人 ③12(9/2/1)袋

80 葛飾区立小松南小学校

平井大橋周辺右岸(葛飾区) ①2/27(水) 雨天中止

81,82 (株)エックスワン

四ツ木橋上流右岸(墨田区)／松本龍詞



前日は雨天中止でしたので状況が心配でしたが、やりがいのあるいつもの状態でした。参加者が少ない中でもたくさんのゴミを集めることができ、うれしい反面、考えさせられました。秋にも実施予定ですのでたくさん

の参加者で臨みたいと思います。
81) ①5/18 ②17(4)人 ③34(16/9/9)袋 ⑤13個
82) ①11/9 ②34(2)人 ③70(33/14/23)袋 ⑤16個

83 墨田区

八広野球場～緑地競技場(墨田区)／佐藤智昭 ①10/26(土) 雨天中止

84 非公開希望

四ツ木橋下流右岸(墨田区)

①5/2(木) ②40人 ③75(57/12/6)袋 ⑤24個

85,86 ブルームバーグL.P.

京成押上線右岸(墨田区)／今野育子



ブルームバーグの社会貢献プログラムは当社の企業文化の中核となっており、世界20ヶ所で慈善事業や非営利団体の支援をしています。日本では多岐に渡る社会貢献プログラムの一環として、2008年より荒川クリーンエイド・フォーラムとともに荒川清掃を毎年複数回実施しています。今後も継続して清掃活動に参加し、社員やその家族が環境について学び、普段の生活でも積極的に自然環境保全に貢献していくことを目指しております。

85) ①9/28(土) ②5人 ③9(6/1/2)袋 ④3(2/1/0)袋 ⑤8個
86) ①11/23(土) ②11(2)人 ③50(26/14/10)袋 ⑤24個

87 (一社)建築ビジョン

京成押上線周辺(墨田区)／山田 義博



建築ビジョンは、実施団体として4回目を迎えました。振り返るとかなりゴミの量は減ってきたと実感しています。4年前ゴミの山だった場所は、相変わらずゴミはあるものの、プラスチック容器の破片等のゴミが主流でした。昔だとあつという間にいっぱいになったゴミ袋は、今年は破片等のポリウレタンの無いゴミが多い為か、なかなか一杯にならず、その分このゴミは誰かが拾わないと永遠に無くならないという現実を切実に感じる、虚しさに近い思いをしました。

①10/19(土) ②10人 ③22(15/4/3)袋

88 (株)ユーニック

木根川橋下流右岸(墨田区)／藤本由佳



晴天にも恵まれ第2回目のクリーンエイドを実施しました。1回目の時よりも参加者が増え、社内での環境貢献活動が浸透してきたことが実感できました。今回、初めての参加者(新入社員)も多く、環境を考える良い機会になりました。今後も、継続して活動していきたいと思っています。

①4/13(土) ②35(7)人 ③45(17/12/16)袋

90 東京東ローターアクトクラブ、東京江戸川ローターアクトクラブ、東京東江戸川ローターアクトクラブ

木根川橋周辺右岸(墨田区)／引間太一



ローターアクトクラブとは18歳～30歳までの青年男女の集まりで、今回のような荒川クリーンエイドなどの企画から運営までを行い、学校や仕事では経験出来ないような体験をする事によって成長していく組織です。

今回は初参加の方が多く、川に流されているゴミについて深く知ってもらえる良い機会になったのでとても嬉しかったです。ご参加下さった皆様、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

①12/8(日) ②40(1)人 ③60(27/16/17)袋 ⑤5個

91,92 中土手に自然を戻す市民の会

中土手五色池(江戸川区)／佐藤正兵



今回は、中川の護岸に散乱したごみ拾いを中心に実施しました。ごみ拾いの後はとん汁と弁当を食べ、午後はザリガニ釣りや、弓矢遊びなどをしました。初めて参加した小学生が熱心に拾っていたのがとても印象的

でした。当会は荒川と中川を分ける中堤に雨水を溜める池を作って自然の再生を観察する活動を中心に1996年に発足、毎月池と池周辺の自然管理を行い、子ども達の遊びと学びの場を維持・管理しています。

91) ①5/4(土) ②21(2)人 ③4(2/1/1)袋 ⑤2個

92) ①11/17(日) ②12(2)人 ③13(9/2/2)袋 ⑤1個

93~95 江戸川区立大杉小学校

中土手五色池(江戸川区)／佐久間俊幸、齊藤直道、神尾敏幸



大杉小学校では、3・4年生の総合的な学習の時間で、環境教育の一環として、年に4回荒川中土手に探検に行っています。その中で、クリーンエイド活動を行い、中土手に落ちているゴミを拾います。私たちが捨てて

しまったゴミによって、そこに住む生き物がけがをしたり、命の危険にさらされる事があります。川や池の水も汚れてしまいます。子どもたちの活動によって、少しでもきれいな荒川を保っていければと考えています。

93) ①1/31(木) ②114(104)人 ③3(1/1/1)袋

94) ①7/2(火) ②160(135)人 ③6(4/1/1)袋

95) ①10/8(火) ②170(130)人 ③5(3/1/1)袋

97 フィリップモリスジャパン(株)

葛西橋上流右岸(江戸川区)／嶋崎順子



6/1(土)、葛西橋上流(江戸川区)の河川敷で、社員とその家族130名が荒川クリーンエイド活動に参加させていただきました。川にポイ捨てされたゴミがたくさんあると思っていましたが、上流や海から流れ着くゴミ

が大半と聞いて驚きました。海をきれいにするためのフィルターとして今後も川のクリーン活動は必要だと実感しました。

①6/1(土) ②130(13)人 ③132(68/39/25)袋 ⑤20個

98 江戸川区土木部水とみどりの課

葛西橋上流中土手(江戸川区)／相馬良子



今回は、葦の中に入り込んでのゴミ拾いとなったためか、古いゴミが多くペットボトルなどは品目不明なものが多かったです。また、ゴミの多さと、ゴミの蓄積により何層にもゴミが重なっていることに参加者

からも驚きの声がありました。今後とも取り組みを続け、ゴミの削減の啓発が様々な形で出来ればと考えます。

①11/2(土) ②15(1)人 ③33(11/10/12)袋 ⑤5個

⑥生ごみ堆肥化実践クラブ

99 JFE商事労働組合

葛西橋下流中土手(江戸川区)／大倉真人



私たちは、JFE商事労働組合です。今回は交流商社労働組合の皆さんと参加させていただきました。当労組としては2回目の参加となりますが、私自身は初めて参加させていただきました。ペットボトル調査でお茶・水が多く、これらはマイボトル等で対応できるもので、ゴミを減らすことにつながるのとの説明はそのとおりだと感じ、今後はマイボトルを持参したいと思いました。または非参加させていただきたいと考え

ます。ありがとうございました。

①6/29(土) ②35(5)人 ③23(16/4/3)袋 ⑤8個



100,101 JAMBO International Center

葛西橋下流中土手(江戸川区)／ディビッド ハウエンスタイン



去年と同じ場所でゴミ拾い。相変わらずゴミの量は多い。ペットボトルと飲料水の缶が特に多い。何故減らないのだろうか?一生涯60余袋一杯になる程拾う。きれいとは言えないまでも、拾った後の河原を見るとゴミ

が見えなくなり、心地良い。この心地良さを大切に次回も頑張ろうと思う。今回は新参加者が何名か加わり、新しいゴミ拾いの仲間が増えた。仲間を今後も増やしてゴミを捨てない社会を作っていきたいと思う。

100) ①4/28(日) ②11(1)人 ③58(24/12/22)袋 ⑤3個

102) ①12/8(日) ②15人 ③62(27/13/22)袋 ⑤6個

102 マルハニチログループ

葛西橋下流中土手(江戸川区)／中谷知子



マルハニチログループ従業員とその家族から参加者を募り、環境意識の啓発を目的に実施しました。参加者は、河川敷に流れ着く生活ゴミが、やがて海の環境破壊にもつながっている現実を知ることができました。また、

自然環境教室もあわせて行い、干潟を跳ねるトビハゼやカニ、シジミなど、荒川の自然にも触れました。豊かな生態系を守るためには、一人ひとりの日ごろからの心がけが大切であることを実感する一日になりました。

①9/21(土) ②32(6)人 ③29(15/5/9)袋 ⑤7個

103 (NPO)えどがわエコセンター

葛西海浜公園東なぎさ(江戸川区)／中嶋美南子



当委員会の構成メンバーである葛西東渚・鳥類園友の会が続いてきた東なぎさクリーン作戦を引き継ぎ、毎年春に実施している。その成果もあり、毎回行なっている野鳥、底生生物、植物の調査でも、生物種が豊かになっていることが報告され、自然の再生が確実に進んでいることが確認されている。葛西臨海公園に建設が予定されているオリンピックのカヌー場建設がこの自然を破壊するという説明がされた。

①7/6(土) ②48(5)人 ③43(23/5/15)袋 ⑤5個

⑥葛西東渚・鳥類園友の会、日本野鳥の会東京

104 都漁連内湾釣漁協議会、葛西東渚・鳥類園友の会

葛西海浜公園東なぎさ(江戸川区)／飯田陳也



船に乗った参加者の顔は皆明るく、「船に乗って干潟に入る」、それだけで子どもの遠足のように心が弾むのか、会話もハイになっていると感じた。着くとすぐにゴミ拾いを開始、1時間足らずでゴミ44袋分を回収した。そ

の後の観察会では、野鳥班は目の前に広がるスズガモ8,000羽などを案内、植物班、底生生物班は採取した数多くの生き物たちを紹介・解説した。参加者からは「東京湾に自然に近い干潟があることのありがたさが実感できました」との声が寄せられた。

①11/12(火) ②33人 ③44(23/6/15)袋 ⑤30個

⑥(NPO)えどがわエコセンター、日本野鳥の会東京

105~113 西なぎさ発:東京里海エイド

葛西海浜公園 西なぎさ(江戸川区)／橋爪慶介



3月から11月の第3土曜日に活動を展開し、延べ462名の方が参加してくださいました。今年は大型の漂着ゴミは全般的に少なかったですが、そのぶんレジペレット級の小さなゴミやプラスチックの破片ゴミを参加者のみなさんとたくさん拾う事ができました。収集したゴミのボリュームとしては迫力に欠けますが、周囲の環境保全を考えるととても有意義であった実感です。また特に多くの小さな子どもたちも熱心に参加してくださいました点も印象的でした。

105) ①3/16(土) ②22(3)人 ③8袋 ⑤1個

106) ①4/20(土) ②25(1)人 ③10袋 ⑤6個

107) ①5/18(土) ②65(6)人 ③16袋 ⑤4個

108) ①6/15(土) ②30(2)人 ③9袋 ⑤1個

109) ①7/20(土) ②78人 ③36袋 ⑤1個

110) ①8/17(土) ②47(6)人 ③18袋 ⑤3個

111) ①9/21(土) ②47(2)人 ③36袋 ⑤15個

112) ①10/19(土) ②83(11)人 ③36袋 ⑤4個

113) ①11/16(土) ②64(2)人 ③6袋 ⑤3個

114 JFE商事(株)

葛西海浜公園西なぎさ(江戸川区) / 佐藤めぐ美



今回で4回目の活動となりました。今回は初参加の人が多く集まりました。初めての海浜公園での活動となり、始めはゴミが少ないと思いましたが、いざ清掃を開始すると意外と多く【意識する事】の重要性を感じました。

今後も参加者を増やして活動していきたいと思えます。

①8/3(土) ②36(3)人 ③8(4/3/1)袋 ④1個

115 ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)

葛西海浜公園西なぎさ(江戸川区) / 若林美紀

一見して綺麗に見えた渚公園でも、細かいゴミが大量にあって、それを小さい子どもたちも丁寧に拾っている姿が印象的でした。とても良い経験になりました。

①9/28(土) ②80(10)人 ③14(11/2/1)袋 ④4個

⑤ウォルト・ディズニー・アトラクション・ジャパン

116 ローソングループ

平井大橋上流右岸(江戸川区) / 片山裕司



ローソングループで活動を始め、今回で19回目となりました。参加人数も年々増えており、加盟店・ローソングループ各社の社員や家族など113人が参加しました。当日は曇りつつない青空の下、冬らしからぬ暖かさもあり楽しく清掃活動を行うことができました。荒川も以前に比べ大変きれいになったと聞きますが、まだまだゴミはあります。ローソングループでは、これからもボランティア活動を継続してまいります。

①11/24(日) ②113(28)人 ③62(36/14/12)袋 ④21個

⑤(株)ローソン、(株)九九プラス、ローソンHMVエンタテイメント、(株)ベストプラクティス

117 小松川信用金庫

平井大橋周辺右岸(江戸川区) / 堀越 康



年に一度、清掃活動を職員と共に行いました。平井大橋右岸周辺は、広場があり、レジャーや釣りには最適な場所だと思います。ですが、ちょっと端に行くと、ポリ袋(食品、菓子など)や、ペットボトル、たばこの吸い殻が特に多く落ちていました。折角の良い環境なのに、とても残念な気持ちになりました。持ってきた物は持ち帰る。一人一人がゴミを捨てないように心がけが必要だと、清掃活動をする度に気づかれます。

①6/1(土) ②126(5)人 ③38(22/7/9)袋 ④6個

118~120 下平井水辺の楽校

総武線下流右岸 下平井水辺の楽校(江戸川区) / 中嶋美南子



昔のように、子どもたちが川で楽しく安全に遊べるよう、毎月第2日曜日を中心に、近隣の親子といっしょに活動しています。干潟や草はらで魚とり、昆虫観察、Eポート乗りなどの遊びを楽しみほか、ゴミ拾い、水質

調査、外来種の除草といった保全活動も遊びの延長で楽しく行っています。はじめは干潟にガラスの破片がたくさんあり、拾わないと遊べないほどでしたが、長年のゴミ拾いのおかげでゴミもずいぶん減りました。子どもたちが荒川の自然と共に育ち、自然環境を大切にす大人に成長してくれることを願っています。

118) ①4/14(日) ②76(13)人 ③72(47/16/9)袋 ④52個

119) ①10/20(日) ②9(2)人 ③29(18/4/7)袋 ⑤20個

⑥(共催)三井ボランティアネットワーク事業団

※雨天中止後、有志で実施

120) ①11/10(日) ②40(20)人 ③13(10/1/2)袋

121 川の手ふぁんクラブ

総武線下流右岸 下平井水辺の楽校(江戸川区) / 八幡好美



「川の手ふぁんくらぶ」は、東北の被災地ボランティアを通じた有志の集まりです。1年前に、FBの友人が発信した荒川のゴミが散乱している画像を見て参加したのが始まりです。今年も去年と同じ場所で活動しましたが、消火器や自転車などの粗大ゴミを含むたくさんのゴミを回収しました。ゴミがなくならないことは残念ですが、この活動を通じて、環境やゴミの捨て方を意識する人が増えるのは意味のあることだと感じています。

①7/14(日) ②11(2)人 ③21(14/4/3)袋 ④16個

122 江戸川区立平井東小学校

総武線下流右岸 下平井水辺の楽校(江戸川区) / 峰岸千恵子



平井東小学校では、1年生～6年生までそれぞれの学年に合わせた形で荒川環境学習を行っています。今回、私たち5年生は、荒川クリーンエイドの皆さんのお力を借りて、荒川土手のゴミ拾い活動に取り組みしました。実際にゴミ拾いをしてみると、思っていた以上にたくさんのゴミがあり、子どもたちもとても驚いていました。今回の活動を通して、環境を守っていききたいという気持ちをさらに高めることができ、よかったと思います。

①9/19(木) ②50(44)人 ③24(10/10/4)袋 ④14個

123 江戸川区立平井小学校

総武線下流右岸 下平井水辺の楽校(江戸川区) / 片倉未希



平井小学校4年生の総合学習の時間の一環として、クリーンエイドに参加させていただきました。これまでにも、子どもたちは昆虫探しや植物観察などで荒川に親しんできましたが、今回ゴミ拾いや調査をすることで「荒川を大切にしたい」という気持ちが更に強まったようです。参加した子どもたちが社会に出る頃には、もうゴミを拾う必要がないクリーンな荒川になっていることを願っています。

①10/22(火) ②71(57)人 ③14(9/2/3)袋 ④17個

124 小松川平井連合町会

木下川排水機場～ロックゲート(江戸川区) / 谷川貞夫

①11/10(日) ②600人

125 三菱UFJトラストシステム(株)

システム開発第4部

小松川橋下流右岸(江戸川区) / 板垣真樹



社員間の親睦を深めるイベントとして荒川河川敷のクリーンエイドを計画しました。8月に実施したため気温35度(!)で非常に暑かったのですが、終了後に参加者からは「もう少しやりたかった!」という声が多数あがるほど作業に夢になっていました。そして全員が達成感と清々しい気持ちでいっぱいでした。その後のBBQでのビールのおいしい味ささげもありません。今回は初参加でしたがぜひ恒例化したいと思います。

①8/31(土) ②65(7)人 ③54(32/11/11)袋 ④12個

126,127 (株)三井住友フィナンシャルグループ

高速7号線下流右岸(江戸川区) / 末廣 孝信



三井住友フィナンシャルグループは、7/7と10/19の2日間、荒川清掃活動を行いました。両日も天気にも恵まれ、グループ企業の役員およびその家族(両日計約600名)が一体となって清掃活動に取り組みしました。初めての参加者が多く、河川敷のゴミの量の多さに戸惑っていましたが、それぞれが協力しながらゴミを収集し、短い時間の中、1人1袋相当のゴミを集めることができました。今後もグループ一体となって、環境保全活動に注力していきます。

127) ①7/7(日) ②394(69)人 ③312(144/95/73)袋 ④24個
128) ①10/19(土) ②200(25)人 ③249(146/42/61)袋 ⑤28個

128 江戸川区立小松川第二小学校

船堀橋上流右岸(江戸川区) / 鶴田麗子



荒川が近くにある本校では、昨年の4年生が参加し楽しく学ぶことができたので、今年も4年生も参加しました。実際に参加し、ヨシや川付近の泥の中のゴミの多さに驚いた児童が多くいました。ゴミはどこからきたのかや

外来種問題の奥深さをボランティアの方から教えていただき、改めてその環境を作っているのは自分たち人間であると感じた児童がたくさんいました。自分に何ができるか、していきたいか考えることができました。

①11/21(木) ②134(114)人 ③46(22/13/11)袋

129 (株)阪急阪神交通社ホールディングス

船堀橋上流右岸(江戸川区) / 石井恒良



阪急阪神交通社グループ環境保全委員会活動として、昨年は西日本にて海岸清掃活動に続く、今回の活動です。地域でのゴミ拾い、海掃除などには参加した経験はありますが、ヨシ刈りは全員初めての経験です。かなりハードでしたが、余りにもゴミが多くびっくりしていました。啓発的にも参加者にご理解いただけ、環境に関心を持ってもらえたと確信します。

①2/2(土) ②26(1)人 ③47(24/8/15)袋 ④16個

130 東京東江戸川ロータリークラブ

船堀橋上流右岸(江戸川区) / 嶋村文男



今年も実施団体として参加するようになり5年目となりました。まだまだ沢山のゴミがあることに気付いたと同時にペットボトルのゴミは減ってきていると感じました。当日は曇りがちの朝で暑さよりも涼しさが

目立ちましたが、お昼に近づくと曇も晴れて汗が湧き出てくるほど暑くなりました。中学生や企業の方々、一般の方達の参加があった荒川クリーンエイドでは自然に触れ合いながら清掃活動ができ、しかも初めて会う人とも清掃活動を通じて知り合う事が出来るとも素晴らしい活動だと思います。荒川のゴミが無くなるその日まで、沢山のみなさんへこの活動を伝えて行けるように頑張りたいと思います。最後にいつも参加していただいている皆様へ、感謝致します。ありがとうございました。

①5/25(土) ②88(28)人 ③71(40/18/13)袋 ④6個

市民団体 自治体 企業 学校
①実施日 ②参加人数(子ども人数) ③大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル) ④小ゴミ袋数(びん/缶) ⑤粗大ゴミ数 ⑥参加団体

131 江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト東京都第215団

船堀橋上流右岸(江戸川区)／原田真佐子



埋もれていく気がしました。

①11/17(日) ②35(10)人 ③20(10/6/4)袋

ポリ袋の破片が土の中に埋もっていて、土の中から出そうとしてもかなり深く埋もれているので、取るのが難しい状況でした。毎年の荒川クリーンエイドで拾い切れなかったこのようなポリ袋の破片がどんどん深く

132 SMBCH興証券(株)

船堀橋周辺右岸(江戸川区)／佐野眞由美



チソウの除草を行いました。参加者からは、生活ゴミやペットボトルなど、人為的に捨てられたゴミが多かったという感想が多く聞かれ、ゴミの発生量を減らす意識を持つことが大切であるという気が生まれました。

①10/19(土) ②238(18)人 ③168(87/30/51)袋 ⑤7個

SMBCH日興証券では、環境保全・社会貢献活動強化期間「Green Week」を設け、CSRへの理解及び地域社会や参加者同士の交流を図っています。今回は240名の役社員が参加し、清掃活動と外来種であるセイタカアワダ

134~136 住友生命保険(相)

都営新宿線周辺右岸(江戸川区)／柳沢 孝、濱本信樹、杉田壮史



は今年で3年目を迎え、昨年から新入職員への研修活動にも取り入れられました。今後も継続して清掃活動を実施していきたいと考えております。

134) ①4/11(木) ②101人 ③107(50/19/38)袋 ⑤37個
135) ①11/9(土) ②330(30)人 ③267(130/64/73)袋 ⑤40個
136) ①11/30(土) ②95(17)人 ③74(45/13/16)袋 ⑤8個

住友生命では、「CSR経営方針」を踏まえ、職員による環境ボランティア活動を実施しております。地球環境保護に取り組むとともに、職員のボランティアマインドの一層の醸成を図るため、「小松川自然地における生物

137 非公開希望

都営新宿線下流右岸(江戸川区)

①5/16(木) ②37人 ③48(22/8/18)袋 ⑤33個

138 ジョンソンコントロールズ(株)

都営新宿線下流右岸(江戸川区)／久枝 稔



どのようにゴミがボイ捨てされるのか、外来種の除草作業では生態系を考へながら除草することで、参加者の環境への意識の高まりを感じました。また昨年と同様に、ゴミを極力出さないバーベキューを活動後に実施しました。

①11/2(土) ②28(9)人 ③24(11/5/8)袋 ⑤15個

ジョンソンコントロールズではBlue Sky Involveとして、環境保護(資源の効率活用)と従業員のリーダー育成を目的として、地域社会と環境保全に貢献するボランティア活動を支援しています。今年で4回目の参加ですが、

139 (株)ダイエー

旧中川沿い船堀橋周辺(江戸川区)／小野佐久良

①10/26(土) 雨天中止

140 江東区土木部施設保全課

葛西橋下流右岸(江東区)／清田光晴 ①10/26(土) 雨天中止

141 りそな銀行 首都圏地域

清砂大橋下流右岸(江東区)／三浦貞子



①11/16(土) ②864(32)人 ③450(210/138/102)袋 ⑤36個

荒川クリーンエイドへの参加は6回目となりました。天気に恵まれ、約850名の社員と家族が楽しみながらゴミ拾いをして、大変有意義な時間を過ごすことができました。普段何気なく使っている物が、ゴミとして川に流れていることを目の当たりにし、ゴミを生まない工夫が、まだまだ必要だと痛感しました。今後もこういった活動で地域や社会に貢献できる企業でありたいと思います。

142,143 江東エコリーダーの会

新砂干潟(江東区)／阿部美和



は約30分。参加者の感想には、皆でやると楽しく早く終わる、思ったよりいろいろなゴミが落ちていてビックリなどがあつた。

142) ①7/27(土) ②54(21)人 ③22(15/7/0)袋
143) ①11/4(土) ②31(11)人 ③23(20/3/0)袋 ⑤3個

台風のあとだったので、いつもよりペットボトルが多かった。また200ℓのドラム缶にはびっくりした。この粗大ゴミは処理が出来ず、そのままですが、なぜか出入りの多い場所です。自然観察が中心なので清掃

①実施日 ②参加人数(子ども人数) ③大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル) ④小ゴミ袋数(びん/缶) ⑤粗大ゴミ数 ⑥参加団体